

都市再生整備計画 事後評価シート

阪急石橋駅周辺地区

令和4年3月

大阪府池田市

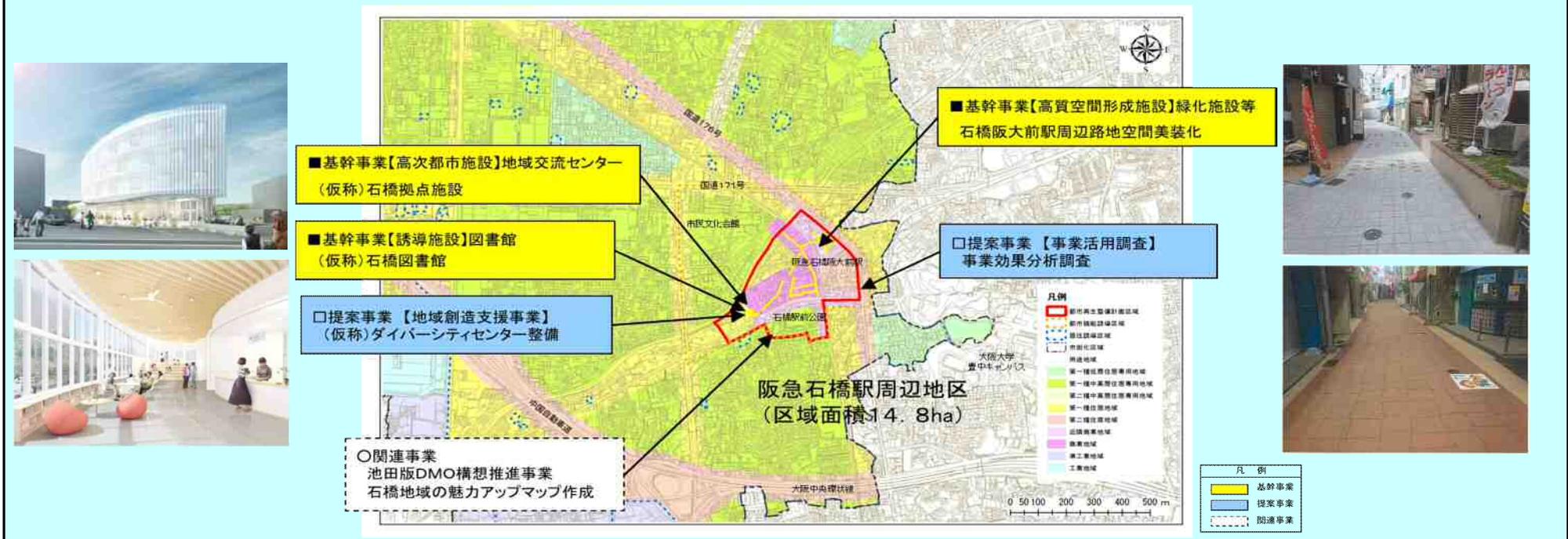
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	池田市		地区名	阪急石橋駅周辺地区			面積	14.8ha		
交付期間	平成30年度～令和3年度		事後評価実施時期	令和3年度		交付対象事業費	1331百万円	国費率	0.496				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	[地域生活基盤施設] 情報板、[高質空間形成施設] 緑化施設等 / 石橋阪大前駅周辺路地、[高次都市施設] 地域交流センター / (仮称) 石橋拠点施設									
	当初計画から削除した事業		提案事業	[地域創造支援事業] (仮称) 石橋拠点施設開設記念イベント開催、石橋地域の魅力アップマップ作成、[事業活用調査] 事業効果分析調査									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業	[地域生活基盤施設] 情報板			スマートフォン等で閲覧可能なデジタル案内マップの整備やSNSでのPR動画配信等による案内環境の整備にシフトしたため			都市機能を大きく変更するものではなく、指標への影響はない。			
			提案事業	[地域創造支援事業] (仮称) 石橋拠点施設開設記念イベント開催、石橋地域の魅力アップマップ作成			立地適正化計画の策定に伴い、都市再構築戦略事業地区に移行した際、提案事業が交付対象外となったため			都市機能を大きく変更するものではなく、指標への影響はない。			
交付期間の変更		当初	平成30年度～令和2年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		(仮称) 石橋図書館の開設に伴い、指標4: (仮称) 石橋図書館利用者数を追加						
		変更	平成30年度～令和3年度										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	阪急石橋阪大前駅1日平均乗降客数(定期外)	人/日	13,036(乗) 12,618(降)	H27	14,000(乗) 13,500(降)	R3	-	10,500(乗) 10,200(降)	×	あり なし	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、大きく減少した。	R4年度
	指標2	(仮称) 石橋拠点施設会館利用者数	人/年	12,742	H27	18,000	R3	-	-	-	あり なし	施設の供用開始(R4年度4月)後に指標の計測を行う。	R4年度
	指標3	阪急石橋阪大前駅の空き店舗率の抑制	%	5.5	H28	6.3	R3	-	8.6	-	あり なし	R1年度時点では目標値を達成(推計値6.1%)していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により大きく増加しており、感染症の影響がなければ目標達成していた見込み。	-
	指標4	(仮称) 石橋図書館利用者数	人/年	130,190	H29	140,000	R3	-	-	-	あり なし	施設の供用開始後に指標の計測を行う。	R4年度
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	池田市に住み続けたいと回答した割合	%	61.6	H21	-	-	-	74.4	-	-	本計画による整備も含め、市全体でのまちづくり施策により、定住意向が高まった。	-
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)石橋拠点施設会館の使い方を検討していきたいという住民の意見があり、自主的な施設運営や活用検討への住民の関心が高まっている。 ・石橋阪大前駅周辺まちづくりワークショップで、今後も継続してまちづくりの検討に関わってほしいという声があり、石橋周辺でのまちづくりの機運が高まっている。 												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				都市再生整備計画に記載はなく、実施したものもない。				
	住民参加プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・石橋阪大前駅周辺まちづくりワークショップ ・(仮称)石橋地域拠点施設新築工事に伴う説明会 			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も市民の意見を取り入れながら、市民との協働により施設の維持・管理を行うとともに、住民活動を啓発・支援する交流拠点の形成を図る。また下記の様な意見があった。 ・石橋地域拠点施設(ツナガリエ石橋)の利用について、市民がもっと意見を出していく必要がある。				
	持続的なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)石橋まちづくり協議会の設立検討 			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				石橋阪大前駅周辺まちづくりワークショップによる取組みを継続し、(仮称)石橋まちづくり協議会を立ち上げ、市民主体の持続的なまちづくり体制を構築していく。				

様式 2 - 2 地区の概要

阪急石橋駅周辺地区（大阪府池田市） まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標:「子どもと子育て世代が集まる いしばし」「人が集い交流する愛着のある いしばし」の実現 目標1:子育て・教育関連施設などの充実 目標2:石橋阪大前駅周辺の魅力向上を図り、にぎわい創出	阪急石橋阪大前駅 1日平均乗降客数 単位:人/日	13,036 (乗客) 12,618 (降客)	H27 14,000 (乗客) 13,500 (降客)	R3 10,500(乗) 10,200(降)
	(仮称)石橋拠点施設会館利用者数 単位:人/年	12,742	H27 18,000	-
	阪急石橋阪大前駅の空き店舗率の抑制 単位:%	5.5	H28 6.3	8.6
	(仮称)石橋図書館利用者数 単位:人/年	130,190	H29 140,000	-



まちの課題の変化

- ・人が憩い、交流し、滞留するために必要な機能が不足していたが、(仮称)石橋地域拠点施設の整備により、図書館と子育て支援施設、ダイバーシティセンターでの、多世代にわたる交流の場を創出できる見込みである。
- ・飲食店街の環境整備が不十分であったが、石畳やカラー舗装、照明施設の整備により、歩行者が安全で快適に歩ける空間を確保することで、飲食店街の賑わいや活性化に寄与した。
- ・駅周辺は建物が密集し道路の幅員も狭く、また、歩道のバリアフリー化が必要である。
- ・(仮称)石橋地域拠点施設の整備により来訪者の増加が見込まれるが、施設前の歩道が整備されていないなど、歩行者が安全に歩ける環境ではない。施設に至る経路の歩道を整備し、歩行者の安全を確保することが必要である。
- ・新型コロナウイルスのまん延により、3密回避や運動不足解消のための、ゆとりのあるオープンスペースへのニーズが高まっている。また、テレワークの進展により職住近接のニーズが高まり、公共交通の利用への不安や在宅勤務推奨の結果、公共交通利用者が減少している。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- ・(仮称)石橋地域拠点施設でのにぎわい創出のため、市民との協働により施設の維持・管理を行うとともに、住民活動を啓発・支援する交流拠点の形成を図る。
- ・(仮称)石橋地域拠点施設の整備により来訪者の増加が見込まれるため、施設に至る経路の歩道を整備し、歩行者の安全を確保する。
- ・(仮称)石橋地域拠点施設への動線上や商店街内の今井水路の環境が良好でないため、水路のあり方を検討したうえで、修景整備もしくは暗渠化を図り、歩行者動線の強化や空間の利活用等を図る。
- ・都市計画公園(箕面川公園)を整備し、川や緑を身近に感じながら滞在できる空間を創出する。
- ・サンロードの舗装を更新し、今井水路以東部分の将来的な歩行者空間化をめざす。また、市道石橋天神線の舗装未更新区間を整備し、商店街の回遊性向上を図る。
- ・石橋駅前公園(ステージ広場)や石橋玉坂公園の再整備を行い、駅周辺での滞在機能を強化する。
- ・石橋阪大前駅東西の動線を強化し、さらなる商店街のにぎわいや活性化を図る。
- ・公共交通だけではなく、自転車や次世代モビリティなどを利用しやすい環境整備を目指す。
- ・目標を定量化する指標について、個々の事業のアウトプットではなく、計画全体の事業実施による住民や社会への影響度を示す指標を検討し、事業による効果の質を評価できる指標を設定する。